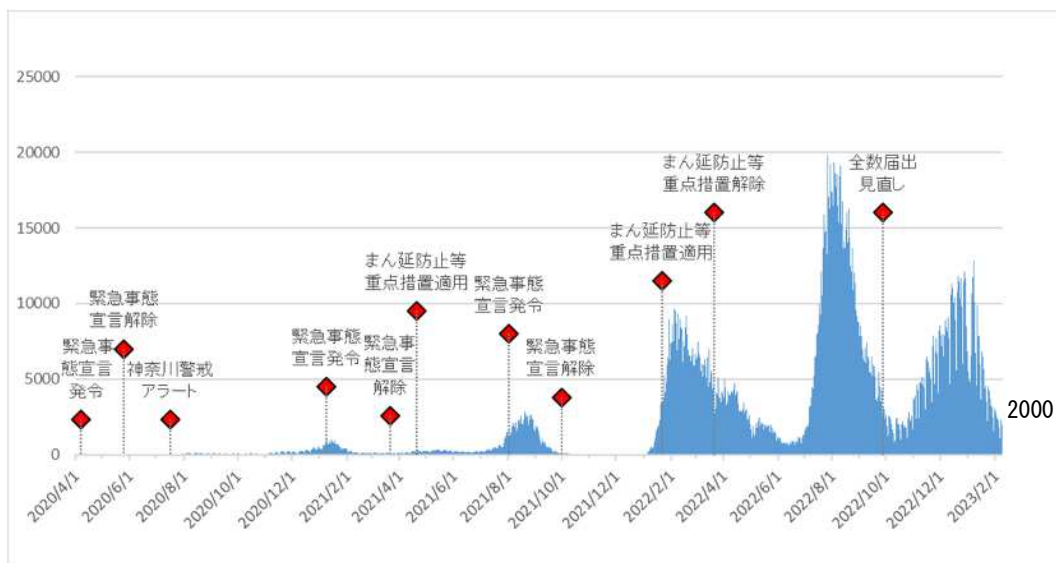




本県の現状分析

健康医療局
令和5年2月9日

1-1 新規感染者の推移



2023年2月8日 現在 ※新規自主療養届発行者数を含む

	日	月	火	水	木	金	土	
12月	11	12	13	14	15	16	17	週合計
	7691人	4686人	10616人	11320人	11040人	10061人	10414人	65828人
	18	19	20	21	22	23	24	週合計
	8898人	5618人	10730人	11833人	11470人	10331人	11701人	70581人
	25	26	27	28	29	30	31	週合計
	9784人	5988人	11454人	12105人	11674人	8491人	6855人	66351人
1月	1/1	2	3	4	5	6	7	週合計
	5514人	4987人	4828人	6567人	10688人	11773人	12840人	57197人
	8	9	10	11	12	13	14	週合計
	10096人	6755人	4558人	9898人	9337人	7806人	7875人	56325人
	15	16	17	18	19	20	21	週合計
	6027人	3646人	6836人	6496人	5634人	4396人	4541人	37576人
	22	23	24	25	26	27	28	週合計
3549人	2194人	4591人	4278人	3729人	3246人	3206人	24793人	
29	30	31	2/1	2	3	4	週合計	
2463人	1543人	3044人	2863人	2592人	2368人	2286人	17159人	
2月	5	6	7	8	9	10	11	
	1812人	1054人	2324人	2000人				

※新規感染者数（新規自主療養届発行者数を含む）

1-2 本県におけるレベル分類 (R4.11.29 本部会議決定)

レベル(L)		保健医療の負荷の状況	社会経済活動の状況	感染状況	具体的対策
L4	医療機能不全期 (避けたいレベル)	<p><外来> ○通常医療を含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態</p> <p><入院> ○救急車を要請されても対応できない状況が発生する ○入院できずに自宅や宿泊での療養中に死亡する者が多数発生する</p>	職場の欠勤者が膨大になり、社会インフラの維持に支障が生じる	想定を超える膨大な数の感染者が発生する	
L3	医療負荷増大期	<p><外来> ○発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到し、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生する</p> <p><入院> ○重症患者の救急搬送に支障をきたしている ○医療従事者の欠勤者が継続して上昇傾向で、院内クラスターが多数発生するなどにより、重症患者の受入が困難になる</p>	職場に欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生する	医療の負荷を増大させるような数の感染者が発生する	<p>【社会への要請】 ○医療非常事態宣言 (レベル4回避のため、県民・事業者に対してより強力な要請・呼びかけ)</p> <p>○医療ひっ迫防止対策強化宣言 (県民・事業者に対して医療体制の機能維持・確保、感染拡大防止措置、業務継続体制の確保等に係る要請・呼びかけ)</p>
L2	感染拡大初期	<p><外来> ○発熱外来の患者数が急増し、負荷が高まる ○救急外来の受診者数が増加する</p> <p><入院> ○入院調整がスムーズにいかなくなる ○医療従事者の欠勤者数が上昇傾向となる</p>	職場に欠勤者が多数発生し、業務継続に支障が生じる事業者が出始める	感染者数が急速に増え始める	
L1	感染小康期	○外来医療、入院医療ともに負荷は小さい		感染者数は低位で推移している	

- レベル判断については、上記表記載の基準を参考に、総合的に判断し、決定することとする。
- 個々の具体的対策を講じる時期については、表記載の状況等を総合的に判断し、柔軟に対応することとする。
- 病床使用率、重症病床使用率は、指標ではなく、参考情報として扱う。

1 - 3 外来の状況

発熱外来

- ・インフルエンザは注意報レベルを超える見込みであるものの、約7割の発熱診療等医療機関は「逼迫していない」と回答
- ・患者が発熱外来に受診する際、概ね当日中に受診できている

- 発熱診療等医療機関への調査（回答：959機関）
68%が「逼迫していない」、26%が「逼迫しているものの、概ね対応できている」と回答
- 発熱外来を受診した患者の94%は、1日以内に受診できている

1-4 インフルエンザの流行状況

定点当たり患者報告数は、注意報レベルを超える見込み

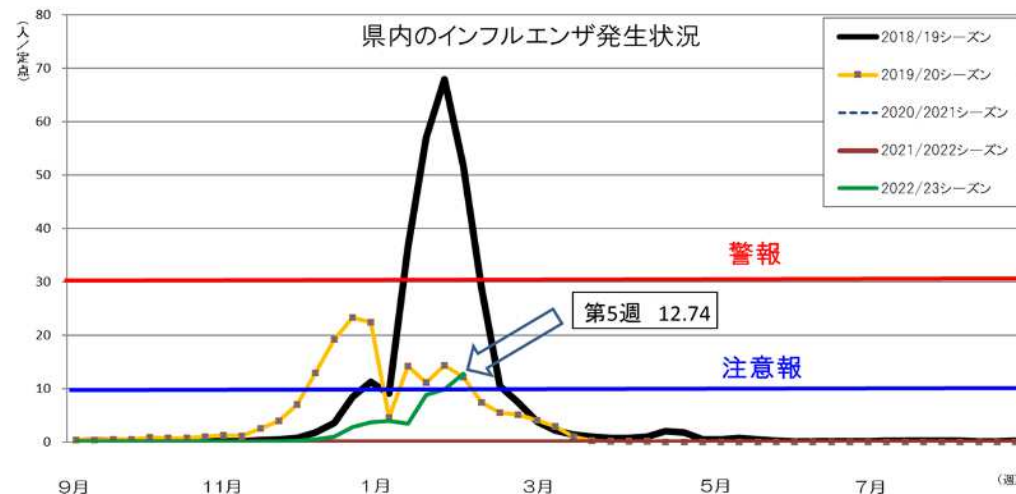
- ・ インフルエンザ定点当たり患者報告数が「10」を超えると注意報レベル
- ・ 1/30～2/5の週は「12.74」（速報値）となり注意報レベルを上回るが、例年同時期と比べて患者報告数は少なく、拡大はゆるやか

＜定点あたり患者報告数の推移＞

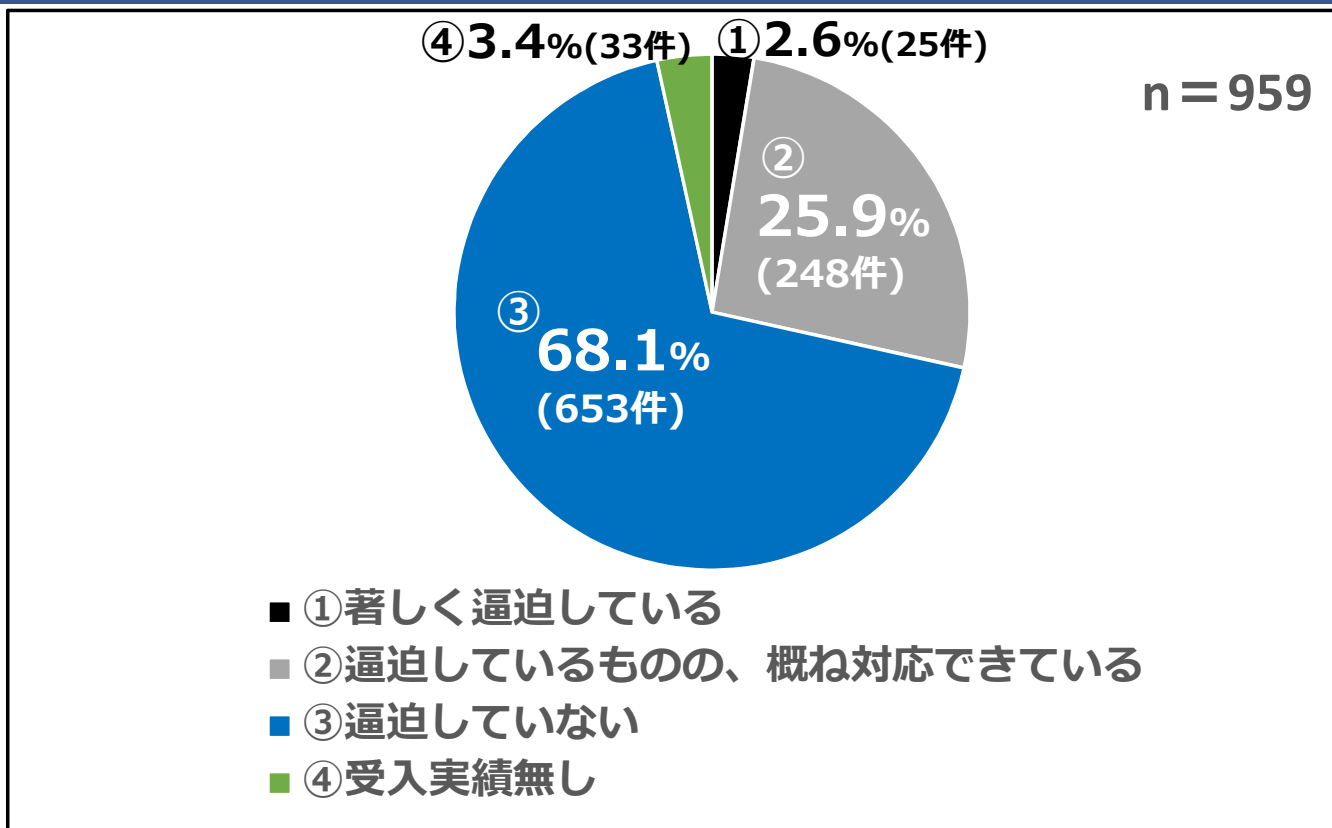
	12/26 ～ 1/1	1/2 ～ 1/8	1/9 ～ 1/15	1/16 ～ 1/22	1/23 ～ 1/29	1/30～ 2/5
本県	3.70	3.96	5.63	8.86	9.88	12.74 (速報値)
全国	2.05	4.73	7.37	9.59	10.36	2/10PM 発表予定

注：本県とは、横浜市・川崎市・相模原市を含む神奈川県全域のことを指します。

定点あたり患者報告数の週別推移（神奈川県全県）



1 - 5 外来逼迫状況



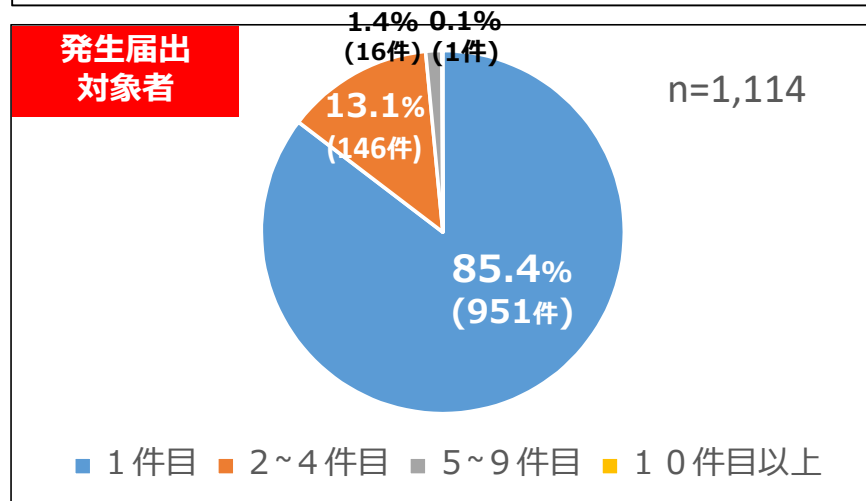
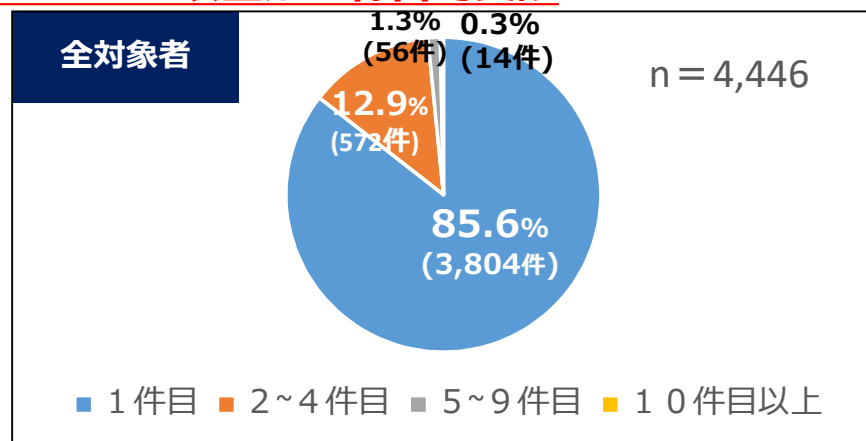
調査期間
R5.1/25から2/1

- ・ **68%**が「逼迫していない」
- ・ **26%**が「逼迫しているものの、概ね対応できている」
- ・ **3%**が「著しく逼迫している」
- ・ **3%**が「受入実績なし」

1 - 6 療養者が外来受診した際の状況

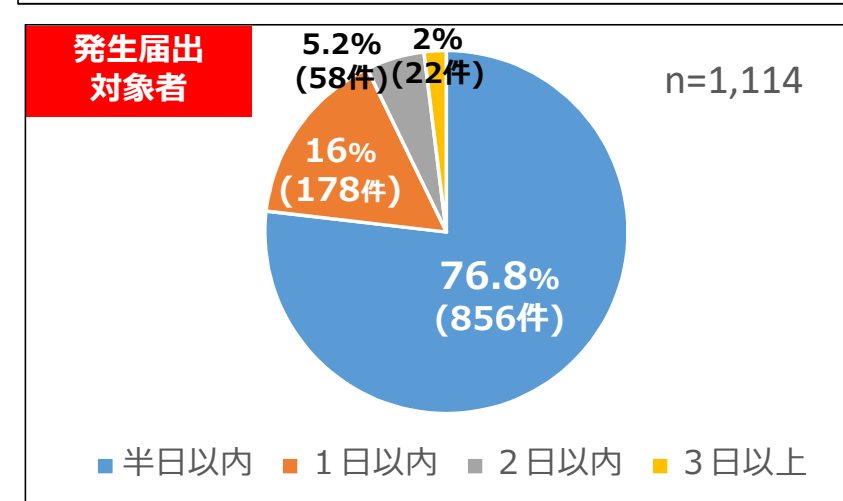
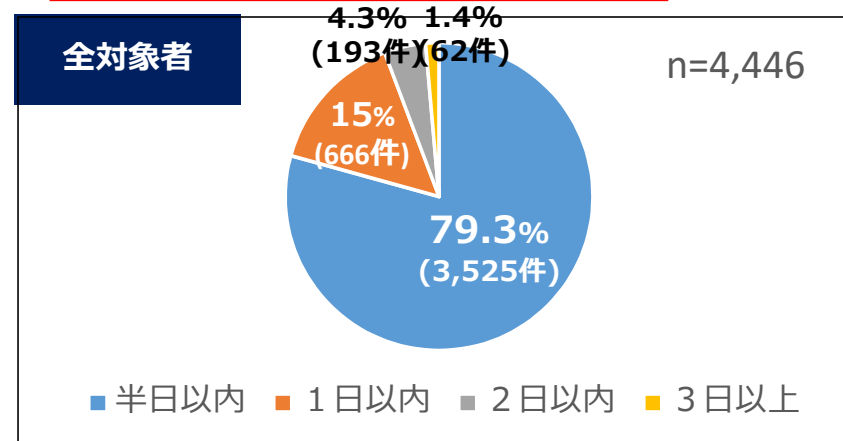
➤ 何件目で発熱外来を受診できたか

⇒ **86%以上が1件目で受診**



➤ 受診するまでにどれくらい期間を要したか

⇒ **94%以上が1日以内に受診**



調査期間
R5.2/1
から2/5

1-7 入院の状況

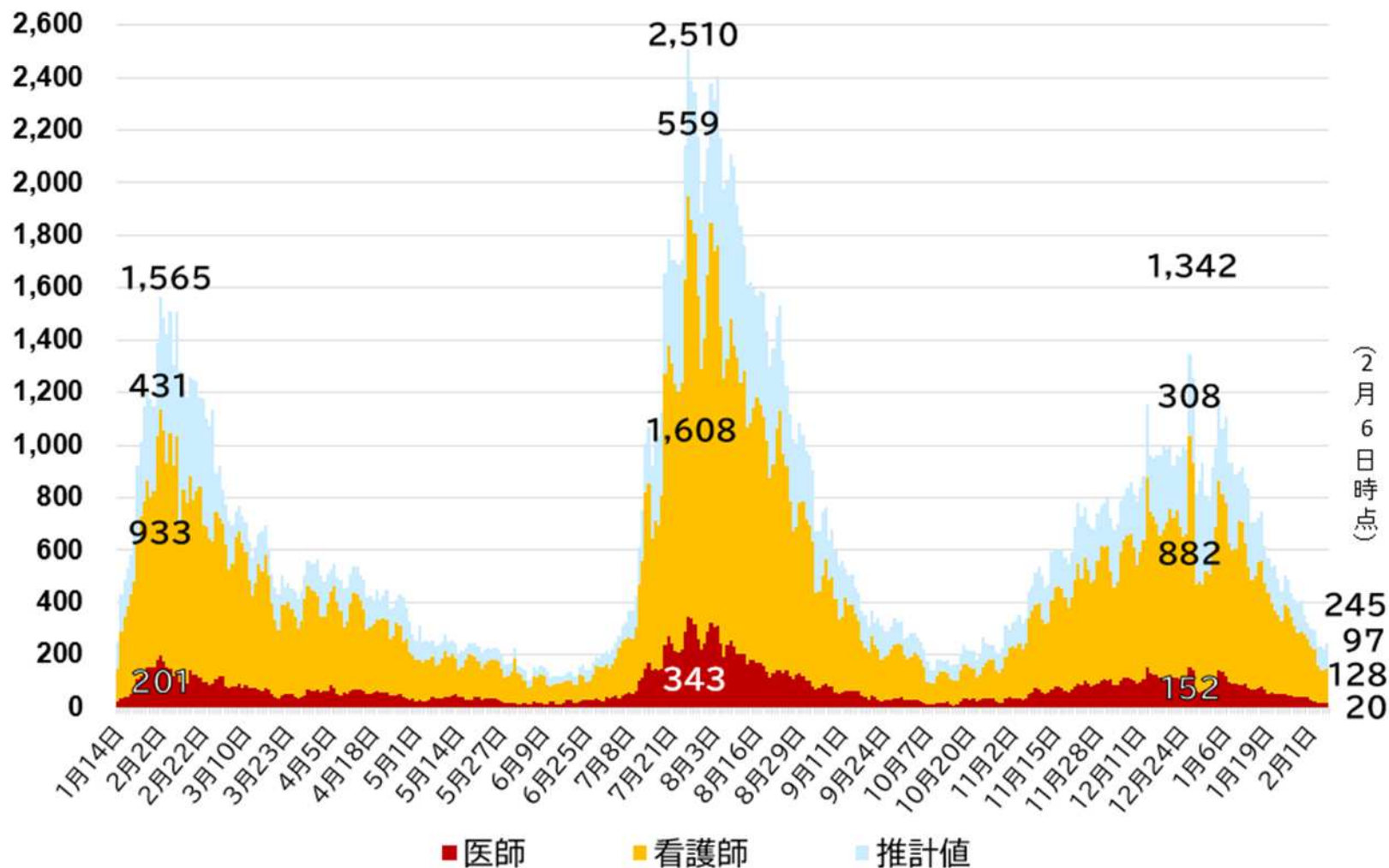
コロナ以外を含む

重症患者の救急搬送・受入

- ・重症患者は搬送できており、時間を要する事案も大幅に減少
- ・ICU病床のひっ迫は、引き続き起きていない

- **医療従事者の欠勤者、院内クラスターの発生状況はいずれも減少傾向**
医療従事者の欠勤者は12月下旬をピークに減少傾向、院内クラスターは12月第1週をピークに減少傾向
- **県内消防からの情報提供（直近2週間 1/22~2/7）**
高齢患者を中心に現場滞在に30分以上かかる事案の報告が4件。すべての事案で搬送はできている。
(12/3から12/26の事案報告件数は24件)
- **ICU病床、入院の状況**
 - ・各病院から、ICUの病床を含む患者の入院に支障をきたしているという話は引き続き出ていない。
 - ・なお、コロナ病床については、重症病床（ICU等）210床のうち、コロナ重症患者は32人（2/8時点）

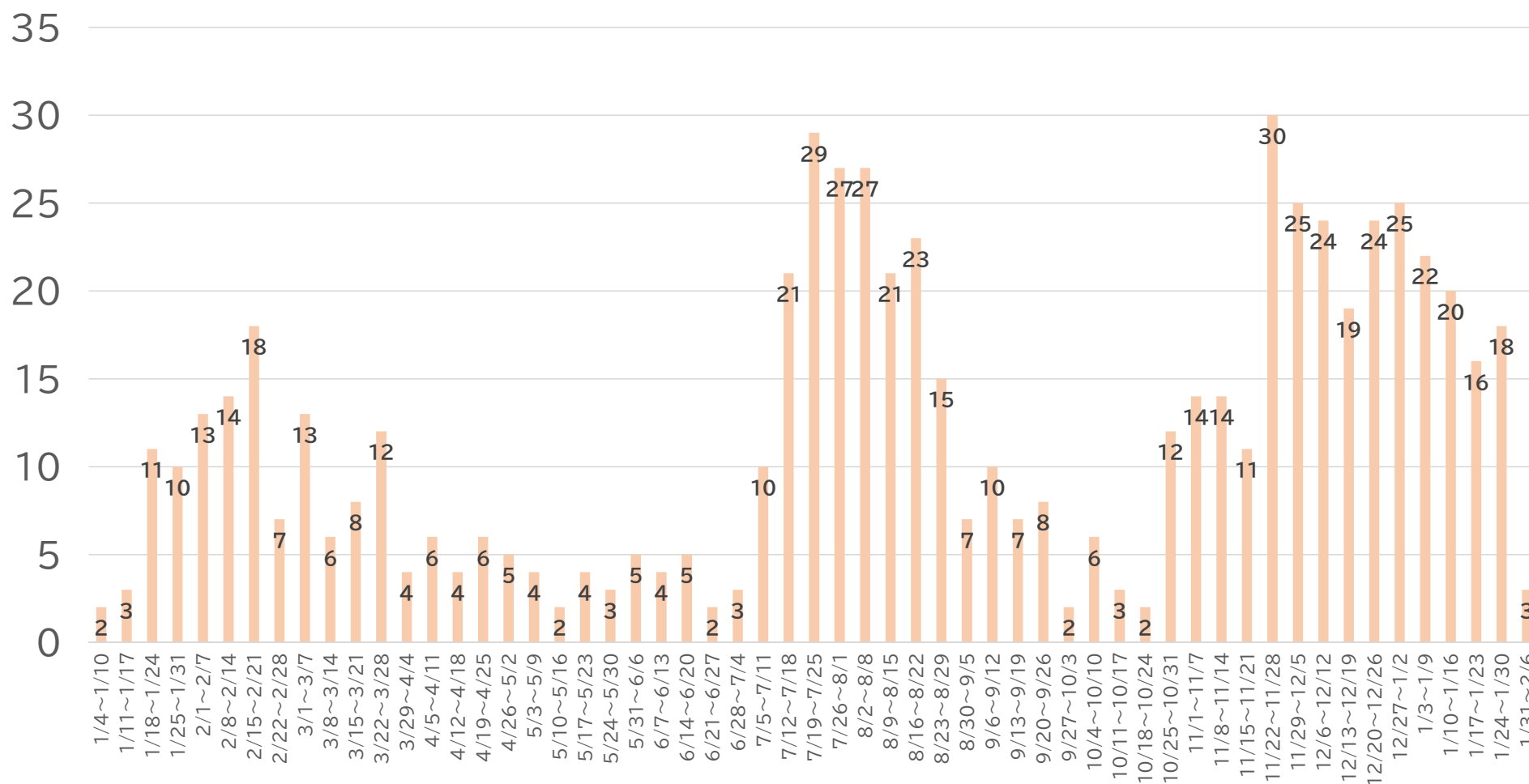
1-8 医療従事者の出勤停止状況



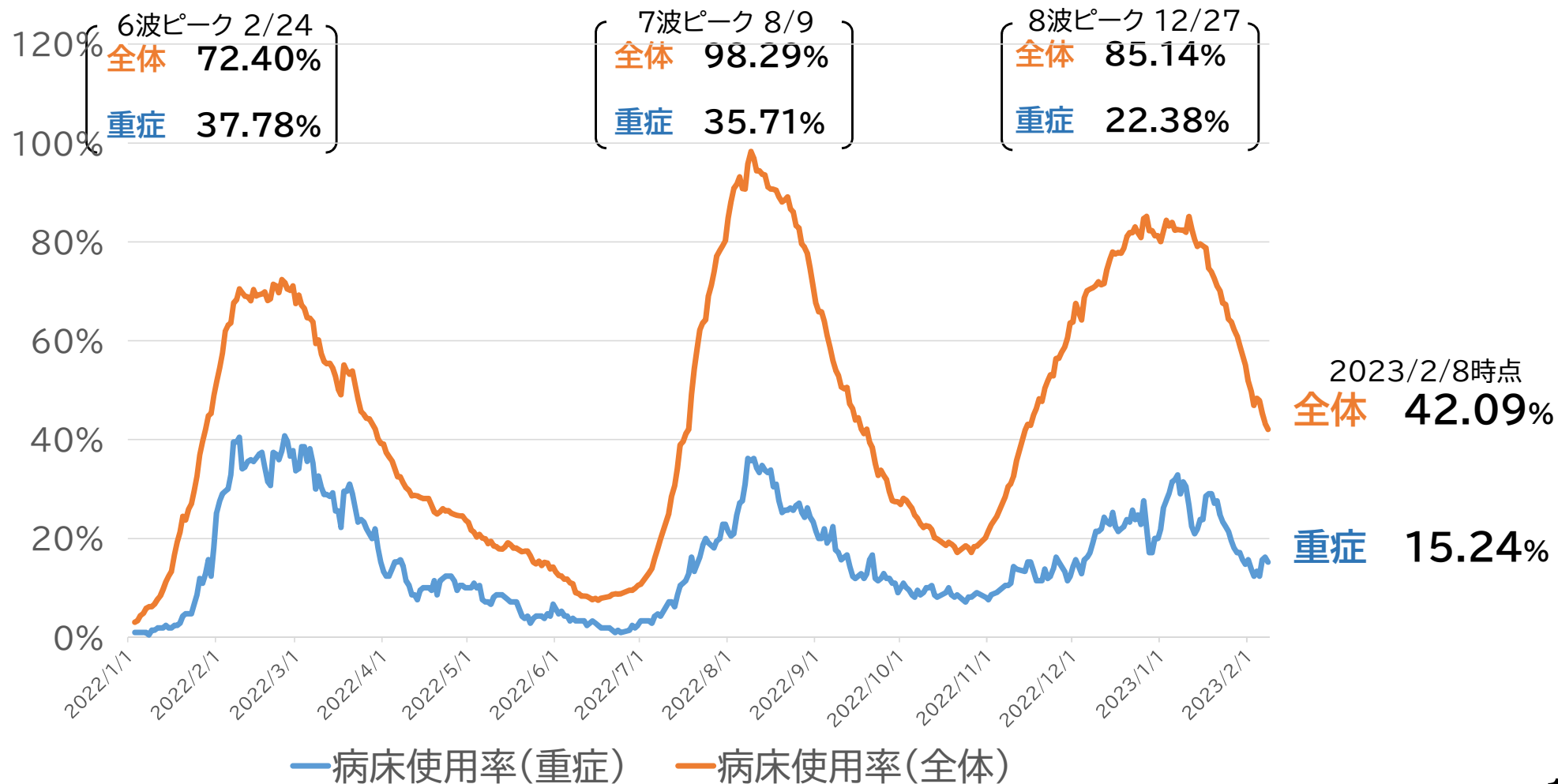
推計値は、出勤停止の医療従事者数の合計を回答率で割って算出

1-9 医療機関の新規クラスター発生件数の推移

2023年2月7日 時点



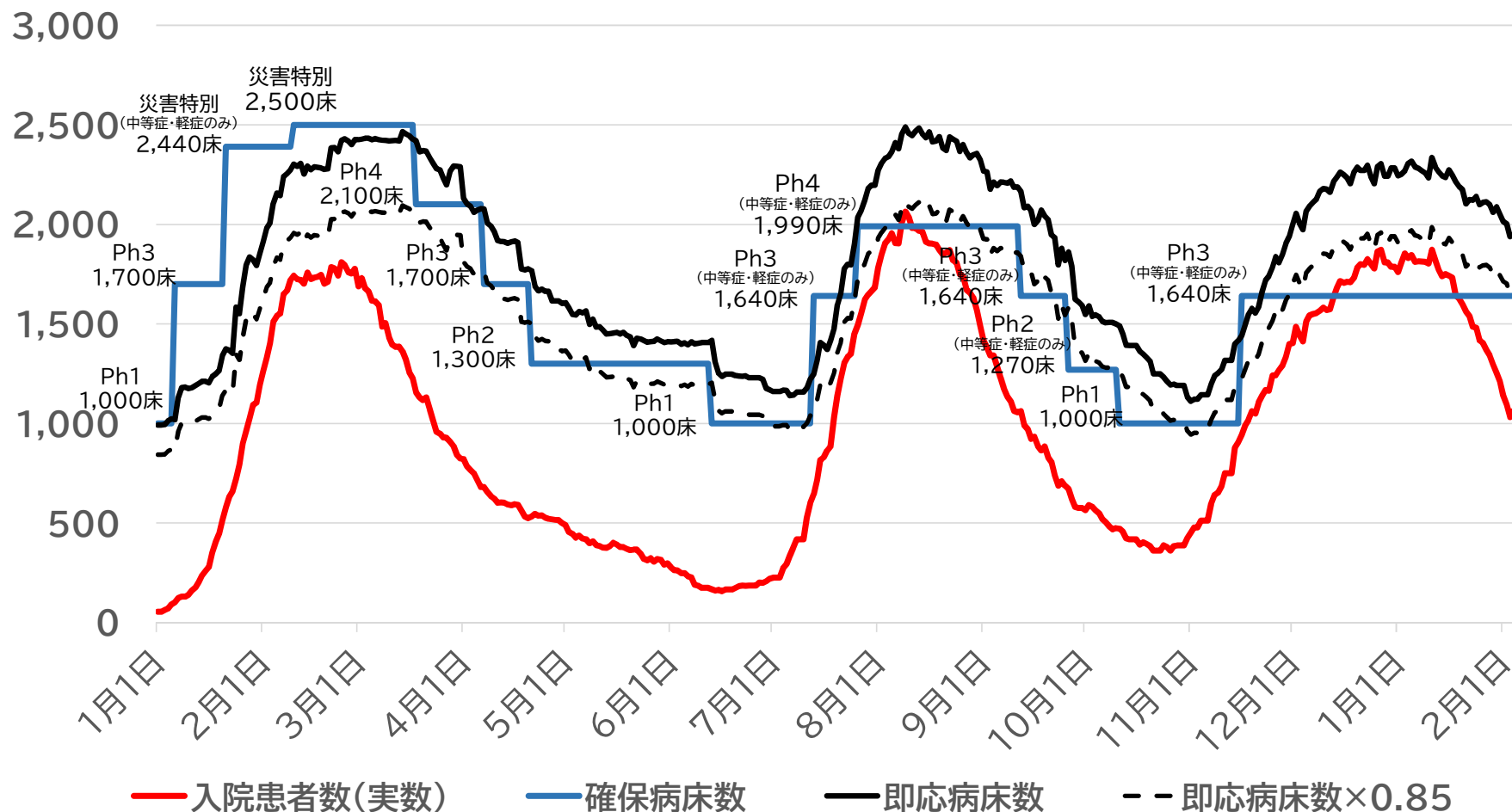
1-10 病床使用率の推移（確保病床ベース）



※病床使用率は、最大確保病床に対する入院者数で計算。

1-11 病床と入院者数の推移

2023年2月8日 現在



2/8時点
 ・即応病床数
 1,843床
 ・入院患者数
 926人

1-12 本県の状況 「レベル」の判断

保健医療の 負荷の状況	外来	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発熱外来 <ul style="list-style-type: none"> ・インフルは注意報レベルを超える見込みであるものの、7割の発熱診療等医療機関は「ひっ迫していない」と回答 ・患者が受診の際、概ね当日中に受診できている
	入院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重症患者の救急搬送 <ul style="list-style-type: none"> ・搬送できており、<u>時間を要する事案も大幅に減少</u> ・ICU病床のひっ迫は引き続き起きていない ○ 医療従事者の欠勤者数 <u>12月下旬をピークに減少傾向</u> ○ 院内クラスター 3件 (2月1週) (参考) 病床使用率 42.09% (2/8 時点) (参考) 重症病床使用率 15.24% (2/8 時点)
社会経済活 動の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続が困難となる事業者は多数発生していない
感染状況		<ul style="list-style-type: none"> ・新規感染者数 (週合計) 14,436人 (2/2~2/8) (前週比 △5,658人) 減少傾向
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・国による「全国旅行支援」 1/10から再開 ・水際対策の緩和 R4/10/11以降 継続中 (12/27以降、中国からの入国者については入国時検査など対応強化)

本県の状況

レベル「2」

2 県民の皆さんへ

お願い1

基本的な
感染対策の徹底

- ・ 適切な**マスク**の着用
- ・ こまめな**手指消毒**
- ・ エアロゾル感染予防には十分な**換気**

マスクや手指消毒は
コロナにもインフル
にも有効！

お願い2

ワクチン接種

- ・ インフルエンザワクチン、コロナワクチンの**接種を積極的にご検討**ください

お願い3

ひきつづき
医療のひっ迫
を防ぐ行動

- ・ 抗原検査キットで**セルフテスト**
- ・ 重症化リスクが低く症状が軽い方は**受診を控え、
陽性者登録**
- ・ 会社や学校への「**証明のための受診**」はしない

限られた医療資源を
重症化リスクの高い
方に重点化するため
にご協力を！